

授乳の仕方

授乳スタイルや抱き方について

総合周産期母子医療センター 産科病棟



授乳のポジショニング

ポイントは3つ

①高さの調節

②児の姿勢

③母の姿勢 です



①高さの調節について

- ・授乳クッションやまくら、バスタオルなどを使用して、児の口と乳頭の高さを合わせる。

②児の姿勢について

- ・頭、首、背中、お尻が一直線になるようにする。

③母の姿勢について

- ・傷の痛みのある人は円座を使用しましょう
- ・ベットの起こしたり、楽な姿勢にしましょう



授乳方法について

- 交差抱き、脇抱き、縦抱き、添い乳の4つが多い。
- 乳房、乳頭の大きさや形、児の体重や吸い方によって使い分ける。

では、授乳の仕方を見てみましょう。

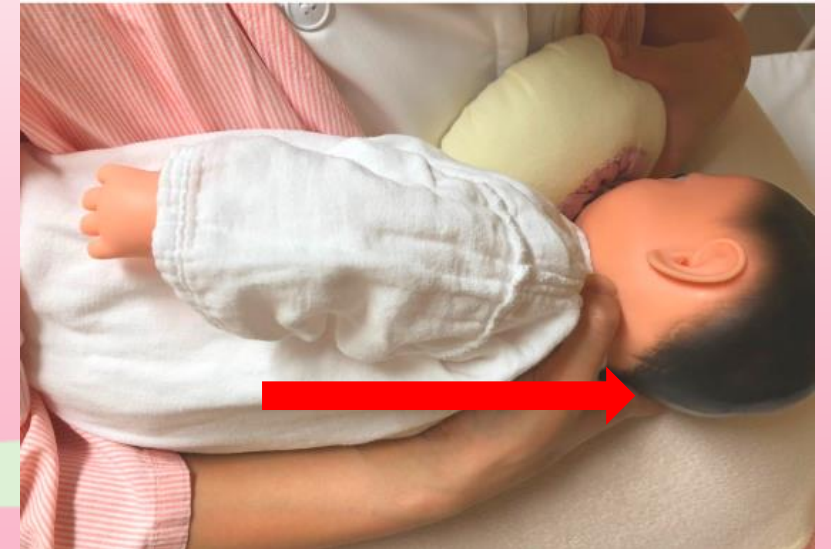


交差抱き



- ♥ 片方の手で乳房を、もう片方の手で赤ちゃんの頭、首、肩を支えます
- ♥ 口が開いたタイミングで赤ちゃんを引き寄せます

♥ 赤ちゃんの体がねじれないよう、耳、肩、腰が一直線になるようにしましょう



脇抱き



帝王切開後で、
傷の痛みがある
お母さんも無理なく
授乳ができます

- ♥赤ちゃんを脇の下から抱えます
- ♥口が開いたタイミングで、
赤ちゃんを引き寄せます



立て抱き



♥赤ちゃんをお母さんの足に
またがるように座らせます
※股関節など足の角度に注意しましょう

♥片方の手で乳房を支えて、
赤ちゃんを引き寄せます



添い乳



- ♥赤ちゃんに向かい合うように横になります
- ♥乳頭と赤ちゃんの口の高さを合わせます

- ♥口が開いたタイミングで赤ちゃんを引き寄せます
- ♥背中にバスタオルを入れて姿勢を整えます

※窒息防止のため、授乳が終わったら
赤ちゃんを乳房から離し、仰向けに寝かせましょう

